

事業計画書

1 事業名称	空家予防事業
(1) 事業の目的 (2) 事業の内容 * 実施体制や実施手法を含めて記入すること。 2 協働事業の内容及び実施方法	空家数全国ワーストワンの世田谷区。 空家となる原因の抜本的解決（予防）により、空家数の減少を目的とします。 高齢化や核家族化が空家となる原因の一つと考え、主に高齢者支援を行う当団体が、福祉的な観点で高齢者と関わることで空家問題の解消に寄与できると考え、以下の事業を起案します。 — 高齢者（特におひとりさま高齢者）を対象とする理由 — 当団体の支援者である高齢者のなかでも、特におひとりさま高齢者が、以下理由で空家となっているケースが多くみられます。 ※世田谷区の65歳以上の高齢者の約3割の5.4万世帯がおひとりさま高齢者となっています。 ①高齢者施設に入居後、家に愛着があつて売却できない場合があります。 ②高齢者施設に入居後、自宅を売却する気力も体力もなくなります。 ③兄弟相続では遺言が無いと遺産分割協議の争いとなり、相続登記ができず活用や売却が困難です。 — 上記理由に対する当事業の実施体制— ● 情報提供 ：セミナー等を実施し、空家の発生抑制や空家の解消に必要な情報を提供します。 ● 相談窓口対応 ：遺言書の作成や空家の売却・活用等、個別の相談に対する窓口となり、ケースごとに必要な専門家や事業者をお繋ぎして不安や悩みに対応します。 ● 行政との連携 ：建築安全課と連携し、「せたがや空家活用ナビ」への相談までつなぎ、空家問題の解消に寄与します。 ※相談対応は無償。 — 空家予防活動を促進する実施内容— 【情報提供】 当団体の職員が講師対応や運営準備を行い、以下内容で空家予防の啓蒙活動を実施します。 ・社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、まちづくりセンターの連携(以降、「三者連携」という)でセミナーを実施(令和4年度 松原で三者連携のセミナー実績あり)します。 ・高齢者クラブとの連携により、終活講座、情報交換を実施し、空家に対する認識や課題を共有します。 ・区民センターとの連携によるセミナーを実施(太子堂区民センターのセミナー実施予定あり)します。 ※講演料は無償です。 ※就労中の方にも考慮し、土日開催も対応出来る体制を整えます。 【相談窓口対応】 上記啓蒙活動を通じて空家相談の窓口がある事を知って頂きます。 【行政との連携】 個別に相談があった場合は、世田谷区建築安全課と連携し、「せたがや空家活用ナビ」への相談登録を支援します。
(3) 令和5年度 事業完了予定日	令和6年2月29日

3 協働の必要性及び役割分担	(1) 区の担当課	建築安全課	
	(2) 協働する意義・必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して情報収集ができる場となる区と協働する事で、多くの高齢者に対し空家予防活動とその啓蒙活動が行えます。 ・三者連携や高齢者クラブなどで啓蒙活動をすることにより、その地域にお住いの高齢者が参加し易い環境が提供できるため、建築安全課だけでは高齢者を集客できないという課題を解消できます。 ・本事業を通じて、福祉の観点から空家になる可能性がある高齢者（おひとりさま・ゴミ屋敷・家族と疎遠など）との接点を作ることができるため、建築安全課だけでは接触がはかれなかった対象者へ空家の啓蒙活動を行うことが可能となります。 	
	(3) 役割分担	提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの開催 講師対応(無償)、運営準備(レジュメ作成・印刷、会場設営など)、相談対応(福祉観点から) ・各福祉担当窓口との連携 ・専門家や事業者に具体的依頼をするまでの支援 ・解決事例集の制作
		区担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家や事業者への具体的依頼を希望する高齢者への相談支援(「せたがや空家活用ナビ」の活用を含む)
	(4) 地域の団体との連携	空家対策を実施しているNPO法人や居住支援団体等との連携や地域資源の活用 病院や高齢者施設への当事業の周知・連携 地域活動団体(高齢者クラブ、自主グループ等)との連携	
4 協働の成果・効果	(1) 期待される具体的な成果や区民・地域への波及効果及びその測定方法	<p>(団体)</p> <p>私たちは、高齢者の様々なお悩み解決に寄与し、感謝されることを事業の目的としています。今回の協働事業を通じて、以下の成果を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相続時に争うことなくスムーズな資産承継に貢献できます ・高齢者が自分らしく豊かな暮らしの実現に貢献できます <p>現在、太子堂区民センター・代沢あんしんすこやかセンター等の連携による高齢者向けの終活セミナーの企画があり、その講演の中にも今回の空家対策に向けた予防の概念を盛り込む予定です。また、高齢者だけではなく、多世代に向けた講演をする事により、幅広くこの空家予防の意識づけが期待できます。</p> <p>本事業の成果の見える化と今後の仕組みづくり(相談の動機付け)に向けて、解決事例集を作成し、各関連部署や今後のセミナーでの受講者への配付を行います。</p> <p>【測定方法】 セミナー開催数、集客数、アンケート集計</p>	
		<p>(区担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相続問題や相続人不存在による空家の発生抑制につながります。 ・管理不全な空家の解消につながります。 <p>【測定方法】 「せたがや空家活用ナビ」の相談者数の増加数</p>	

[令和5年度提案型協働事業 様式]

	<p>(2)事業の成果の活用方法、将来の展開</p>	<p>(団 体) 成功事例として持続的に空家予防活動ができます。 事例集を作成し事業の成果として見える化するとともに、今後の活動に役立てます。</p>
		<p>(区担当課) 広くセミナーの周知をしても、なかなか集客できていないのが現状です。さらに、相続人のいない高齢者や、施設入所を検討している高齢者など、空家予防への情報が必要な人と接点を持てる本事業の成功例ができれば、他自治体に同様の動きが広がるモデルケースになると考えます。</p>
<p>5 その他</p>	<p>*提案する事業と関連する団体の特徴、専門性、実績、提案、事業実施に向けたアピールなど</p>	<p>この事業が行政内で仕組みとして構築できると、空家減少だけでなく、高齢者本人が自分らしい老後を送ることや、孤独死対策やゴミ屋敷等の課題の対策にも繋がります。ひとり暮らし高齢者が安心して暮らせる仕組み作りに寄与することは言うまでもなく、残される親族に迷惑を掛けずに済む、近隣などに迷惑をかけることも無くなる、また安心安全なまちづくりが実現できるなど、様々な波及効果が有ります。特に、これまでの私たちの活動で、遺言作成（遺言公正証書作成数）した方々のほとんどが、スムーズな資産承継ができ空家の予防につながったと感じます。是非、この空家予防事業を世田谷区協働で進めて行きたいと思えます。</p>

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体は、次のページもご記入ください。

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみご記入ください。

6 昨年度の世田谷区提案型協働事業の効果など	(1) 昨年度の協働事業の効果・実績	
	(2) 昨年度の事業内容と比較して、新しい点や工夫した点など	
	(3) 協働事業を継続する理由	

事業実施スケジュール

※適宜、罫線を入れるなどして見やすいように作成してください。

時期	内容
5月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会
6月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会 区民センターセミナー
7月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会
8月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会 区民センターセミナー
9月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会
10月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会 区民センターセミナー
11月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会
12月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会 区民センターセミナー
1月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会
2月	三者連携セミナー 地域包括支援センター勉強会・情報交換会 区民センターセミナー
	計：25回開催

事業収支予算書

【収入】

費目・内容	金額 (円)	積算内訳
補助金	500,000	
自己資金	56,250	
合計	556,250	

【支出】

費目・内容		金額 (円)		積算内訳
		事業予算額	うち補助金申請額	
人件費	活動費	281,250	275,000	1回あたりの拘束時間：2.5時間 1人あたりの平均時給：1,500円 開催数25回×人員数3名×2.5時間× 1,500円
	[小計]	281,250	275,000	
報償費				
	[小計]	0	0	
消耗品・ 備品費	ボールペン代	62,500	62,500	開催数25回×参加者数25名×ボ-ルペ ン代100円
	[小計]	62,500	62,500	
複写・ 印刷費	印刷費	125,000	125,000	1回あたりの参加者平均数：25名 1人あたりの印刷代：200円 開催数25回×参加者数25名×200円 事例集制作：500冊×100円
	空家解決事例集制作費	50,000		
	[小計]	175,000	125,000	
郵送・ 広告・ 保険料				
	[小計]	0	0	
使用料・ 賃借料				
	[小計]	0	0	
交通費		37,500	37,500	1会場平均交通費：500円 開催回数25回×人員数3名×500円
	[小計]	37,500	37,500	
その他				
	[小計]	0	0	
合計		556,250	500,000	

☆この事業収支予算書は、今回提案する事業に要する予算を記入するものです。団体の年間予算を書くものではありません。

☆日常の運営経費（団体等の日常運営の人件費、事務所賃借料、光熱水費、日常運営に要する消耗品・備品費等）は対象外です。

団体の概要

団体名	NPO法人 都民シルバーサポートセンター				
所在地	世田谷区太子堂 5-16-9 太子堂一番館 1階		電話番号	03-5787-8318	
			FAX	03-5787-8328	
代表者氏名	信夫 武人		役職	理事長	
事業責任者 ※住所、電話番号・ FAX、Eメールは 公開しません。	氏名	大西 統		役職	専務理事
	住所				
	電話番号				
	FAX				
	Eメール				
設立年月 (活動開始年月)	2021年 4月 (特定非営利活動法人設立: 2021年 4月)				
役員等の構成 及び社員数 (会員数)	役員数: 4名 (理事長・専務理事・理事・監事) 社員数: 6名 計: 10名				
主な活動分野	高齢者の様々なお悩み (相続・認知症・終の棲家・介護・おひとりさまなど) 相談窓口となり、そのお悩み解決に向け、各専門家や関連企業をコーディネートする活動を行います。(相談及びコーディネート料は無償) また、相談し易い環境の構築に向け、高齢者だけでなくその方を支援する介護従事者に向けて、行政・地域包括支援センターと連携し、講演活動も行っています。				
主な活動実績 *行政との協働 の実績を含む。	【2021年4月～2023年3月末までの実績】 相談件数: 約 450件(月平均 18.75件) セミナー・勉強会講演数: 60回 (月平均 2.5回) 《内訳》 地域包括支援センター: 16回 高齢者サロン: 5回 介護従事者向け: 14回 当団体企画: 15回 その他: 10回				
団体の ホームページ	https://tsugusapo.com/				

選定委員からの意見

事業名：空き家予防事業

- 世田谷区は全国的にも空き家が多いことで知られており、社会問題となっている。本事業は空き家を事前に予防するという観点から、セミナーによって啓発しようとしている点が評価できる。(提案書では「啓蒙」という語がみられるが、社会通念上は「啓発」が適切と考える)
- 空き家の防止は、町会、自治会など地域の方に働きかけ、情報が広く地域で共有されることが期待される課題である。既存の団体・組織との連携を進めてほしい。
- 一方、セミナーの後の個別相談については、どのように応じていくのか、本提案では明確にとらえられなかった。「必要な専門家や事業者をお繋ぎする」とあるが、相談の多くは福祉領域に関わっており、区担当課との連携・協力により安心・安全が担保されると考えられる。
区担当課は、セミナー・相談等を提案団体と共に考え、内容に関わり、相談者を区の窓口につなげるなど、協働を具体的なかたちとして進めていただきたい。